

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単位	20単位
科目コード 000230	科目名 服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表) : 安島 直美	共同担当者 : 1組=安島 直美 2組=相澤 雅美
------------------	---------------------------

教育目標・レベル設定など
 平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品制作する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

服装造形 論Ⅲ	通年3単位	000230
服装造形 デザイン Ⅲ ab	通年6単位	000337、000338
服装造形 パターンメイキング Ⅲ	通年3単位	000530
服装造形 ソーイング Ⅲ	通年4単位	000630
服装造形 ドレーピング Ⅱ	通年4単位	000820

1. カジュアルウエア 42コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
2. 皮革作品 42コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
3. モードコピー 20コマ 実物制作
4. ヴィオネ演習 15コマ 1/2シーチング制作
5. 特殊素材 42コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
6. フォーマル素材 40コマ デザイン・パターン・実物制作・レポート
7. 自由研究 25コマ デザイン・パターン・実物制作
8. ドレーピング 29コマ 三面構成ジャケット・ドレープ・ラグランスリーブコート
9. コンテストデザイン発想 10コマ

評価方法・対象・比重 S~C・F評価

- ・服装造形論Ⅲ . . . 試験 100%
- ・デザインⅢ . . . 課題 80% 授業姿勢 10% 発表会 10%
- ・パターンメイキングⅢ、ソーイングⅢ . . . 課題 90%、授業姿勢 10%
- ・ドレーピング Ⅱ . . . 試験60%、課題30%、授業姿勢10%

主要教材図書
 パターンマジック 文化出版局、VIONNET 副読本 文化出版局、文化ファッション大系服飾造形講座(スーツ、コート・ケープ、高級素材、特殊素材) 文化ファッション大系アパレル生産講座(立体裁断応用)

参考図書 GAP コレクション SHOW DETAILS WWD JAPAN

その他資料 なし

記載者書名欄 安島 直美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単位	2単位
科目コード 005726	科目名 量産技術実習Ⅱ	授業期間	前期(集中)

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：上野和博、井戸川倫也、加藤紀人
----------------	-----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解することを目的とする。
 授業内容は企画業務としてのデザイン発想から設計業務としてのパターン作成、製造業務としてのライン縫製そして商品管理業務としての品質検査までとし、重衣料であるコートの量産をグループワークで実習する。品質(Q)・原価(C)・納期(D)の観点から体系的にアパレル生産を学び、生産活動の専門知識習得が目標である。

【授業計画】

- I. ガイダンス (1コマ)
 - ① 授業の目的
 - ② タイムテーブルの確認
 - ③ デザイン、仕様、パターンチェック
- II. 工業用パターン作成 (1コマ)
 - ① 担当教員紹介
 - ② フルパターン作成(表・裏・芯・スレキ)
 - ③ ゲージパターン作成
- III. サンプル裁断 (2コマ)
 - ① サンプル見積もりマーキング
 - ② サンプル裁断
 - ③ サンプル縫製準備
- IV. サンプル縫製 (3コマ)
 - ① 役割毎にサンプルを縫製
 - ② サンプルの確認および検査(検査基準書作成)
- V. サンプルチェック及び帳票類作成 (2コマ)
 - ① サンプル確認及びパターン修正
 - ② 工程分析表、縫製仕様書、加工裁断芯貼り指図書、作業標準書、表紙作成
 - ③ 作業割り当て、座席表作成
- VI. マーキング実習 (1コマ)
 - ① CADを使用したマーキング実習(東レ Crea Compo使用)
 - ② 最終の見積もりを算出
 - ③ 裁断用下紙準備
- VII. 裁断実習 (1コマ)
 - ① 裁断実習(自動裁断機使用)
 - ② 芯貼り、仕分け、縫製準備
- VIII. ミーティング (1コマ)
 - ① 帳票類を読み合わせ、縫製前の打ち合わせをおこなう
- IX. 縫製 (14コマ)
 - ① 帳票類に基づき学生主導による生産をおこなう
 - ② 縫製技術や検査方法、進捗の指導
- X. まとめ (1コマ)

製品検査

【評価方法】

組織活動の貢献度：50% 出欠席：50%

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

記載者氏名 宮澤 国博

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単位	2 単位
科目コード 402010	科目名 CADパターンメイキングⅠ	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル業界の企画【設計】において必須であるCADシステムを利用し、基本を学びながら
 考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作が出来るようになる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	オリジナルパターン4 パターン利用の製品図
2	基礎パターンメイキングVer. 1-1 基本操作	17	オリジナルパターン5 マーキング方法
3	基礎パターンメイキングVer. 1-2スカート展開	18	オリジナルパターン6 縫製仕様書
4	基礎パターンメイキングVer. 1-3 スカート展開	19	応用パターンメイキングVer. 4-1 ジャケット衿
5	基礎パターンメイキングVer. 1-4 用途別縫い代	20	応用パターンメイキングVer. 4-2 ジャケット裏地
6	応用パターンメイキングVer. 1-1パンツ	21	応用パターンメイキングVer. 4-3 ジャケット裏地
7	応用パターンメイキングVer. 1-2ワンピース	22	応用パターンメイキングVer. 4-4 製品図
8	応用パターンメイキングVer. 1-3ワンピース	23	応用パターンメイキングVer. 4-5 縫製仕様書
9	応用パターンメイキングVer. 2-1 製品図	24	応用パターンメイキングVer. 5-1 プリーツ
10	応用パターンメイキングVer. 2-2 製品図・部品図	25	応用パターンメイキングVer. 5-2 製品図
11	応用パターンメイキングVer. 2-3 縫製仕様書	26	グレーディング方法・仕方 考え方
12	基礎パターンメイキングVer. 2 パターン入力	27	実技試験対策
13	オリジナルパターン1 パターン入力	28	実技試験
14	オリジナルパターン2 トレース	29	
15	オリジナルパターン3 修正～完成	30	

評価方法・対象・比重
 評価基準 学業評価50% 授業姿勢50%
 前期はテストを行わず、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価
 後期は実技テストを行うと共に、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価

主要教材図書 文化ファッション大系 アパレル生産講座⑥ CADパターンメイキング 文化服装学院編
参考図書 特になし
その他資料 特になし

記載者氏名 高津 由規子

2018年度カリキュラム科目概要/暫定

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1単位
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 北川和男	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 基礎造形力の育成と発展を主眼に授業を進行し、各自のデザイン制作への反映と活用を目標とする。前半の導入部にはグラフィックデザインを課題とし、発想力と表現力、その展開を学習する。後半部は、立体造形を中心に発想力・表現力・造形力の総合的な養成を目標に授業を進行してゆく。すべての課題において、物造りに於ける質の高い試行錯誤を経験させる。

- 前期 (14コマ) -

[I] パーソナルロゴマーク : (4コマ)
 自身のブランド・ショップを想定したオリジナルロゴマークの制作。
 特徴の把握と形態の単純化・抽象化と象徴性の学習。

[II] プロダクトデザイン／ハンガー制作 : (5コマ)
 立体デザイン制作。二次元のデザイン(計画)から三次元への展開。
 スチレンボードを主な素材としてハンガー(実物大マケット)を造る。

[III] 立体造形 : (5コマ)
 人物をモチーフとした針金造形(ワイヤーアート)。
 針金を主材料として、独創性とキャラクター性の立体的な表現を追求する。

方法 : 実習(参考作品・資料映像を、プロジェクターを用いて表示した講義・解説を含む)
 また、各課題の終了時には、プレゼンテーションと講評会を行う予定。

制作物 : 平面作品1枚、立体作品2個

コマ数 : (全14コマ)、[I]-3コマ、[II]-6コマ、[III]-5コマ

評価方法・対象・比重
 課題制作物(平面デザイン1課題、立体デザイン2課題)の評価に比重をおき、出席率を加味して総合的に評価する。

主要教材図書

参考図書

その他資料授業では課題説明の際に、随時に参考関連作品等の資料映像をプロジェクターにて鑑賞させる。

記載者氏名 北川和男

科コード	11813	科名	服飾専攻科デザイン専攻3年1組、2組(東華)	単位	3単位
科目コード	500838	科目名	ファッションデザイン画Ⅲa	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 岡本 あづさ

共同担当者:

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションデザイン画に求められる実力の習得として、技術、知識、感性のⅢつの要素をカリキュラムに配分し、課題として構成。学生が独自の発想を具体的に表現出来る実力を育成する

【授業計画】

- I. オリエンテーション
- II. 人物の描き方(応用)
- ポーズの資料から人体の角度と動きを分析し、立体的に描く表現技術を習得する(アンダーウェア、スィムウェアのデザインをポーズに表現する)
- III. 画材研究
- 各種画材表現の特長、可能性、違いを知る事で幅広い表現のバリエーション技法を知る
- IV. 服飾テクニックからの展開
- ブリーツ、ギャザー、ドレープなどの様々な技法からデザインを考えデザイン展開する(立体的表現の習得)
- V. テーマからのデザイン展開
(オリジナルテキストスタイル)
- 各自のテーマから様々なアイデアを出しオリジナルのテキストスタイルを提案
実物素材を製作し、その素材をメイン素材にデザイン展開
(コンテストへ繋げる)
- VI. テーマからのデザイン展開
ファッションの歴史
(アイテムデザイン)
- ひとつのアイテムに注目し、自由な発想からディテールにも注目した新しいアイテムデザインの可能性を考える
- VII. テーマからのデザイン展開
(色からのデザイン展開)
- 自分の好きな「色」や興味の無かった「色」など。「色」の持つ印象からイメージを分析しデザインへと展開する
- VIII. 錯視・錯覚効果
からのデザイン展開
- 錯視錯覚効果にある図案や形をデザインに取り入れ、より効果的なアイデアへと展開しデザイン表現する
- IX. テーマからのデザイン展開
(サブテーマ)
- 各自のメインテーマ(夏季課題)に各自自由なサブテーマを設定
2つのテーマから生れるデザイン展開、バリエーションの可能性を考える
- X. 校内ファッション画展
- オリジナルのデザインアイデアを習得した技術を使用し構成を工夫し表現まとめていく
(可能なタイミングでコンテストを課題の間に取り入れチャレンジしていく)

【評価方法】

評価基準: 学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書

参考図書 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等

その他資料 卒業生の参考作品など

記載者氏名 岡本 あづさ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単位	1単位
科目コード 400600	科目名 西洋服装史特論	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表): 菊田 琢也	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

近現代のファッションがどのような思想、社会状況、隣接する文化領域との関連のなかで発展し、歴史を紡いでいったのかについて考察する。その際に、衣服制作を支える裁断・縫製・素材といった技術の発達史および産業史にも留意する。また、各回ごとに現在のファッション現象と照合して見ていくことを通じて、歴史が現在と地続きであることへの気付きを促し、現状と今後について考える手段と姿勢を養う。

コマ	内容	コマ	内容
1	イントロダクション: 歴史を学ぶとは	16	
2	オートクチュールの成立: シャルル・フレデリック・ウォルトのデザイン	17	
3	身体動作と衣服のかたち: コルセットと身体管理	18	
4	機能と装飾: シャネルと近代デザイン	19	
5	芸術とファッションの交流: エルザ・スキヤパレリとシュルレアリスム	20	
6	ファッションと流行: 1950年代のオートクチュール	21	
7	ストリートスタイルと既製服: スペース・エイジとスウィング・ロンドン	22	
8	身体の規格化: 既製服デザインとは何か	23	
9	路上からランウェイへ: ヴィヴィアン・ウエストウッズの仕事	24	
10	ファッションとオリエンタリズム: 三宅一生、山本耀司、川久保玲	25	
11	ファッションとジェンダー: ジャン=ポール・ゴルチエやマドンナを事例に	26	
12	身体成形としてのファッション: 1990年代の身体観を探る	27	
13	ファッションとグローバル化: コンゴロマリットとクリエイティブ・ディレクター	28	
14	まとめ: ポストインターネット時代のファッション	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書

毎回、プリントを配布する。

参考図書 文化服装学院編『服飾関連専門講座⑩ 改訂版・西洋服装史(文化ファッション体系)』文化出版局 2012、成実弘至『20世紀ファッションの文化史』河出書房新社 2007、ブリュノ・デュ・ロゼル(西村愛子訳)『20世紀モード史』平凡社 1995 他

その他資料

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード 200210	科目名 アパレル染色演習 I	授業期間	半期 (前期)

担当教員(代表) : 伊藤 望	共同担当者 : 菅野 めぐみ
-----------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。
 さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

1. ガイダンスおよび染色概論 ・ 授業内容について ・ 主な染料の種類と特徴 ・ 染料と繊維の染色適性 ・ 染料と繊維の結合と染着過程	(1 コマ)	(講義)
2. 酸性染料による原毛染色 ・ 酸性染料の特徴 ・ 羊毛の酸性染料による浸染法	(1 コマ)	(実習)
3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作 ・ 羊毛の縮絨性 ・ 羊毛のフェルト制作方法	(2 コマ)	(講義・実習)
4. 直接染料および反応染料による絞り染め ・ 直接染料の特徴 ・ 反応染料の特徴 ・ 絞り染めによる防染の仕組み ・ 絞り技法と染色法	(3 コマ)	(講義・実習)
5. 顔料樹脂染料による型紙捺染 ・ 型紙捺染の仕組みと捺染の種類と版式 ・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・ 型紙制作と印捺、仕上げ方法 ・ 特殊プリント加工	(3 コマ)	(講義・実習)
6. オパール加工 ・ オパール加工の仕組みと適性繊維 ・ オパール糊の印捺方法とベーキング方法	(2 コマ)	(講義・実習)
7. 乾式転写プリント ・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み ・ 手描き図案による転写方法	(1 コマ)	(講義・実習)
8. マーブル染め ・ マーブルインクによるマーブル染めの方法 ・ 台液に水を使用する方法と台液に糊を使用する方法	(1 コマ)	(講義・実習)

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 伊藤 望

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数＝6
 アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ブランドとは、その定義
- ・VMDの必要性和SKU算出法の解説と実践
- ・MDマップの意味と作成方法
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・アパレルブランド構築の方法論
- ・カセット企画とは

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数＝7
 マーケットで「売るため」の企画のシミュレーション
 各グループで既存ブランドの企画作業を企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重
 出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書
 レジュメ使用
 参考図書
 その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2単位
科目コード 303000	科目名 選択科目 帽子	授業期間	後期

担当教員(代表) : 窪田 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定)

帽子の一般知識を習得する。夏物帽体・布帛仮縫い・冬物帽体・カクテルハットの4作品を製作する。専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を学ぶ。トータルコーディネートとしての効果を意識した作品作りを指導。

I オリエンテーション 講義 [2コマ]

- ・帽子の形の種類、素材、木型、用具、用語など専門性の説明

II 実物製作 4作品

(1)夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・夏物帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導

(2)布帛作品の作図・仮縫い 講義・演習 [6コマ]

- ・基礎作図からのパターンの応用、製作方法
- ・仮縫い用帽子の製作

(3)冬物帽体(フェルト帽体)の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・帽子用のフェルト帽体(ファーフェルト)による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導

(4)カクテルハット 講義・演習 [8コマ]

- ・帽子専門芯地での土台芯の製作、扱い方
- ・土台芯にかける布の扱い方(薄物生地、ベルベット、ドレス共布等の布別、形別の方法)
- ・トリミング製作、仕上げ方(花、パール、羽根等の材料別の扱い方、まとめ方)

評価方法・対象・比重 作品 : 授業姿勢 80% : 20%

主要教材図書 文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編
参考図書 各種帽子写真集など
その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2 単位
科目コード 504000	科目名 選択科目 グラフィックワーク	授業期間	(28)

担当教員(代表) : 佐谷 真樹	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の
 図案作成などを学び、デザイン提案書・ポートフォリオを、C.G.を利用して効果的に表現できるようにする。
 また、デザイン画もC.G.で描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい」表
 現を習得する。
 デザイナーに必要なビジュアル・プレゼンテーションの為のCG データ作成を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イラストレーターの基本理解	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	ハンガーイラストを描く基本を学ぶ	17	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
3	シャツを描く=本体、袖、衿を描く	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	20	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
6	シャツを描く=フリル・ペプラムの表現	21	イラストレーターでの編集と構成を学ぶ
7	シャツを描く=デザインの効果的な展開方法	22	デザインポートフォリオの制作
8	描いたシャツを展開	23	デザインポートフォリオの制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザインポートフォリオの制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザインポートフォリオの制作
11	ジャケット・スカート・パンツを描く	26	デザインポートフォリオの制作
12	ジャケット・スカート・パンツを描く	27	デザインポートフォリオの制作
13	ディテールの作成=ブラシでの表現(チェーンベルトなど)	28	デザインポートフォリオの制作
14	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース		
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース		

評価方法・対象・比重
 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
 参考図書 なし
 その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷真樹

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2 単位
科目コード 200220	科目名 選択科目 アパレル染色演習Ⅱ	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表): 伊藤 望	共同担当者: 菅野 めぐみ
----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 染色、加工の応用的な実習を通して新たな素材の可能性を探り、発想力を高める。
 それを各自が研究および創作するアパレル作品の企画、制作力の強化に結びつける。

1. ガイダンス ・ 授業内容について	(0.5 コマ)	(講義)
2. 酸性染料の三原色混色によるカラートライアングル表の作成 ・ 酸性染料の特徴 ・ 酸性染料の浸染法 ・ 三原色の配合比率で作成できる色	(1.5 コマ)	(実習)
3. 色出し実験 ・ 計画した色に近づけるための染料混色実験	(2 コマ)	(講義・実習)
4. 実物染色 ・ 色出し実験データに基づく布（製品含む）の染色	(2 コマ)	(講義・実習)
5. 簡易スクリーンプリント ・ 顔料と各種バインダーのプリント ・ 反応染料のオーバープリント ・ 反応染料の防染プリント ・ デニム生地への抜染プリント ・ デジタル演習室施設見学	(8 コマ)	(講義・実習) (講義・実習) (講義・実習) (講義・実習) (講義)
6. 皮革染色 ・ 皮革の種類と特徴 ・ 皮革の取扱における注意点 ・ 皮革の染色法および加工法	(2 コマ)	(講義・実習)
7. 素材創作 ・ 習得した染色・加工の技法を生かした生地企画および制作	(10 コマ)	(実習)
8. 発表 ・ 制作した生地に関して、企画意図・実習内容・結果などを各自が工夫をして発表	(2 コマ)	(実習)

評価方法・対象・比重 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
--

参考図書

その他資料

記載者氏名 伊藤 望

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1単位
科目コード` 301100	科目名 アート・ジュエリー	授業期間	後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー
 参考作品の素材説明とアイデア提案
 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明
2. アートアクセサリー制作実習
 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞
3. アートアクセサリー制作実習
 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて
4. アートアクセサリー製作実習
 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて
5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ
 シルバー粘土、リング制作実習
6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明
 制作実習
7. シルバー粘土リング制作実習
 作品について仕上げ・説明

評価方法・対象・比重
 作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2単位
科目コード` 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 安島 直美	共同担当者 : 1組=安島 直美 2組=相澤 雅美
------------------	---------------------------

教育目標・レベル設定など
 デザイナーの現場、プロから見た仕事に対する心構え、内容、流れなど現場での実務を聞き、学生の方向性、意識の向上をはかる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

・ファッションデザイナーの役割	デザイン発想におけるテーマ	(90分×1)	宮前 義之氏
・ファッションデザイナーの役割	デザイン発想におけるテーマ	(90分×2)	神田 恵介氏
・シャツの一般知識	オーダーシャツの技術解説	(90分×3)	山神 正則氏
・起業の心構え	仕事内容・実務の解説	(90分×1)	林 根泰氏
・ユニフォームの基礎知識	企業ユニフォームのマーケットと商品解説	(90分×1)	佐古 かがり氏
・流行色解説	2019 S/S 2019・2020 A/W	(90分×2)	中村 芳道氏
・ドレーピングテクニック	デザイン画発想からのデモンストレーション	(90分×2)	樋口 吉徳氏
・毛皮の一般知識	毛皮の現状と技術解説	(90分×2)	梨本 チエ子氏
・ファッション情報	トレンド解説・パリ・ミラノ・東京	(90分×2)	青木 規子氏
・ニットの知識	カット・ソーの縫製(量産機器使用)	(90分×3)	田才 由美子氏
・キャリア支援	コミュニケーション講座	(90分×4)	佐々木 徹氏
・皮革の一般知識	衣料皮革の扱い方と現状	(90分×1)	村松 弘康氏
・ピンワークの一般知識	ピンワークの技術	(90分×4)	多田 園江氏

評価方法・対象・比重 履修認定 評価基準 : 学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者書名欄 安島 直美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	4単位
科目コード 971000	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 安島 直美	共同担当者 : 1組=安島 直美 2組=相澤 雅美
------------------	---------------------------

教育目標・レベル設定など
 全ての教科目の集大成として各自の知識・感覚・技術を集結させ、オリジナリティーに富む作品作りを目指す。
 合わせて、卒業制作ショーを行いさらに今後のデザイン活動へ向けてデザインソースの蓄積をはかる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・ 各自のコンセプトによりデザイン発想し、制作する。
- ・ アイテム、素材、自由
- ・ 作品の完成度を上げるテクニックで縫製する。
- ・ 卒業制作ショーの舞台効果を考えたコーディネートをする。
- ・ 卒業制作ショーの企画、演出を行う。

評価方法・対象・比重
 ・ S~C・F 評価 評価基準 : 課題 80%、授業姿勢 10%、レポート 10%

主要教材図書
 なし

参考図書 GAP コレクション SHOW DETAILS WWD JAPAN

その他資料 なし

記載者書名欄 安島 直美